

## 第55回中学生作文コンクール

都道府県別賞一等

備えることの大切さ

宮城県 仙台市立第一中学校 二学年

横山 愛

“備えあれば憂いなし”ということわざは、平生から事に備えて準備をしておけば、何の心配もなくなるという意味です。私は、このことわざが生命保険そのもののように感じます。生命保険という言葉の意味は知っていても、実際に自分の生活に取り入れようとすることを先延ばしにしている人が多いのではないのでしょうか。

私の母の知人に生命保険の仕事に携わっている方がいます。その方が今まで対応したお客さんの中で、生命保険を契約される三日前に突然旦那さんを亡くされた二人の幼い娘さんを持つ女性の方がいたそうです。余りに突然の出来事に現実を受け止められない状態だった、と母の知人は話していました。もしそのとき、契約をしていれば経済的な不安は和らげることが出来た、という母の知人からの話を聞き、私も胸が苦しくなりました。あとほんの少しだけ早く生命保険に加入できていれば、どのくらい助かったか分かりません。二人の幼い娘さんの将来についても不安が残ってしまいます。そのように思うと、改めて生命保険の大切さが身に染みてきます。

誰しも自分が死ぬなんて考えもしいと思いません。しかし、だからこそ生命保険の持つ力の大きさをしっかりと伝えていかななくてはいけないし、考えなくてはいけないと思います。

一人でも多くの人に伝わってほしいという想いで責任重大な仕事をしている人もいます。もしあのとときこうしていれば、と後悔に苦しんでいる人もいます。何が起るか分からないこの世界・この時代では、準備しておくことは安心して生活出来ることに繋がると思えます。何の心配もなくなるということ、安心出来るという意味にもなります。一番大切なことは、備えることです。